

別図（第2の6(1)） 床下部分の高さの算定方法

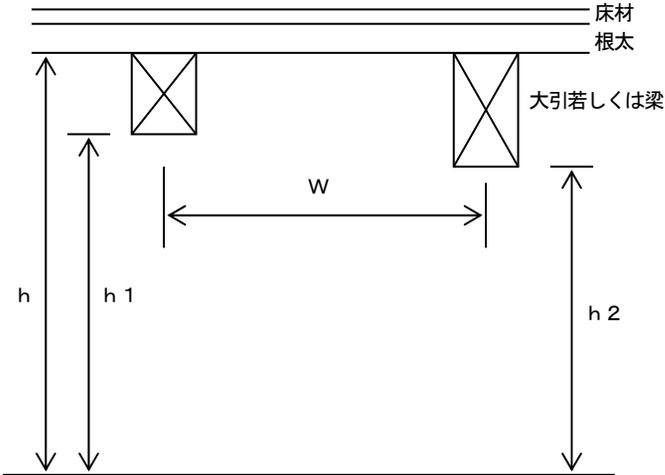
- ・床面から根太を受ける部材（大引き若しくは梁又はこれらを受ける部材）の下端までの高さとする。
- ・最高の高さによる。
- ・床下部分に天井を設けた場合においても、構造部材の位置により高さを算定する。

凡例 高さは、各図共通

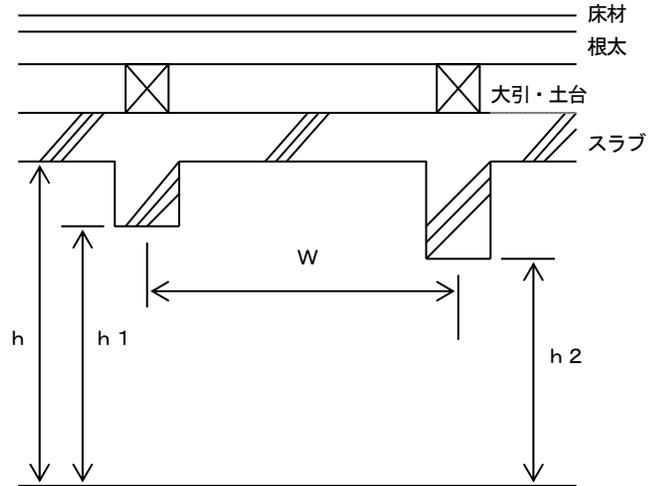
$h > h_1 > h_2$
 $W \leq 2m$ のとき $h_1 \leq$ 床下部分の高さの限度（別表による数値）
 $W > 2m$ のとき $h \leq$ 床下部分の高さの限度（別表による数値）

床下部分の外周部（外壁に相当する部分）については、床下部分の高さの算定において、対象としない。外周部は、高さの限度を超えることができる。

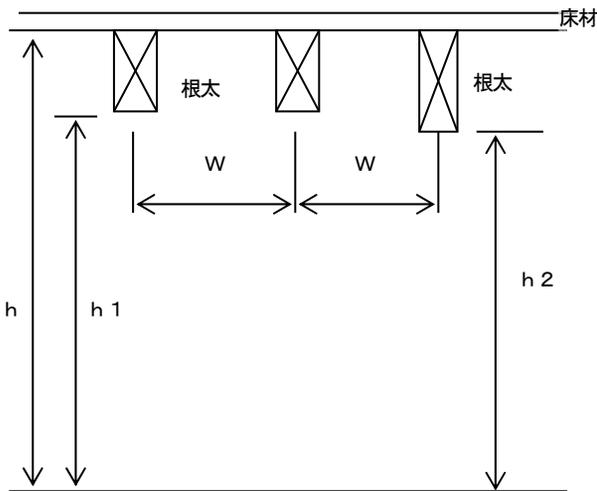
①



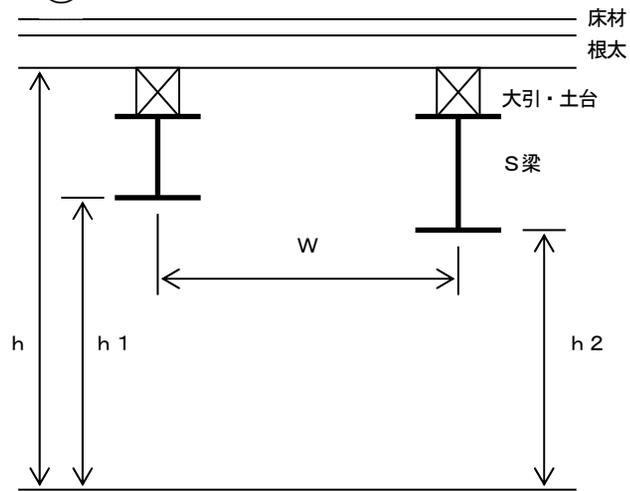
②



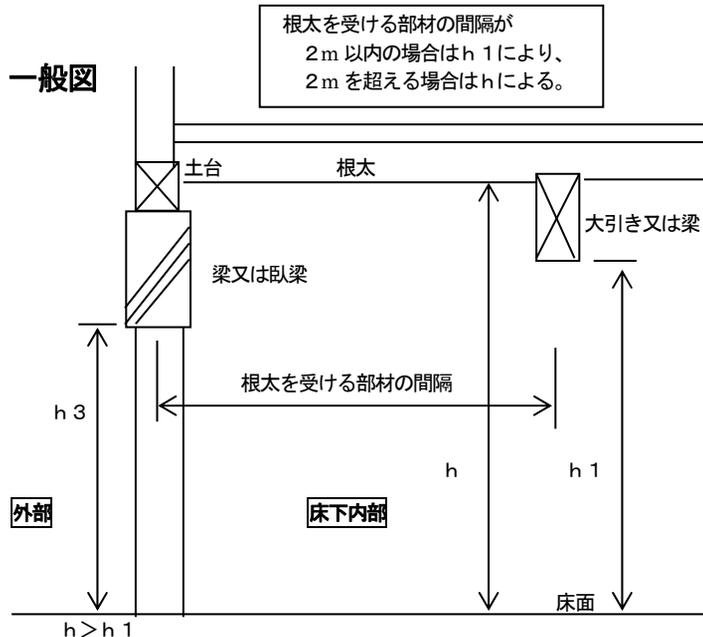
③



④



一般図



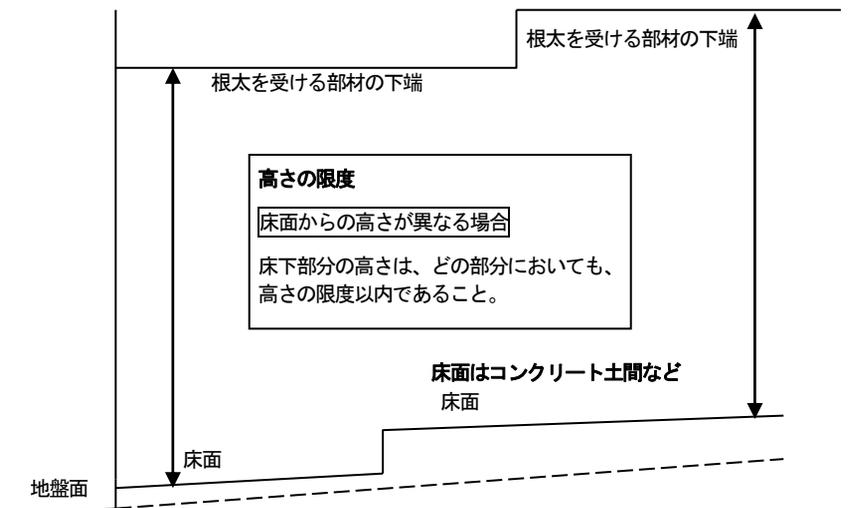
根太を受ける部材の間隔が
 $2m$ 以内の場合は h_1 により、
 $2m$ を超える場合は h による。

外部

床下内部

h_3 は、床下部分の外周部であることから、床下部分の高さの算定において、対象としない。高さの限度を超えることができる。

床下部分の高さの限度



高さの限度
 床面からの高さが異なる場合
 床下部分の高さは、どの部分においても、高さの限度以内であること。

床面はコンクリート土間など
 床面